

平成30年3月31日

熊本市長 様

団体名 特定非営利活動法人

教育支援プロジェクト・マスタース熊本

代表者 職名 理事長 氏名 石 井 憲



熊本市市民公益活動支援助成金実績報告書

平成29年4月1日付け指令（地活）第1－5号により、熊本市市民公益活動支援助成金の交付決定を受けました事業の実績について、熊本市市民公益活動支援基金実施要綱第20条の規定により、関係書類を添えて下記のとおり報告します。

記

1 助成事業名

地元の小中学校への教育活動支援事業

2 助成事業の実施期間

29年 4月1日 ～ 30年3月30日

3 助成事業の内容

小中学校等の支援のニーズを受けて、丸付け支援や見守り・寄り添い支援などの活動を行った。

4 事業の成果

- ・ 支援活動を行った学校から感謝と喜びの声をたくさんいただいた。
- ・ 助成金をいただいたことにより活動の輪を広げることができ、会員の社会貢献活動意欲を高めることもできた。
- ・ 児童生徒の健全育成にもつながる活動ができた。

5 助成事業の実施状況

(1) 事業収支決算書（様式第16号）

(2) 事業の経過又は成果を証する書類等

- ・ 会員の活動報告書（確認書）

(3) その他参考となる資料

- ・ マスタース新聞

事業報告書

実施年度	平成29年度																										
事業名	地元の小中学校への教育活動支援事業																										
事業期間	29年 4月1日 ～ 30年3月30日																										
事業の目的	教育現場の多忙さを実感している会員が、各学校の手助けをすることで、児童・生徒の学習活動がスムーズに展開する。そのことが学校教育の充実に寄与し、子ども達の健全育成につながることを目的とする。																										
具体的な事業内容	(事業の概要) 当NPOは、設立当初から、会員が居住する地域の小中学校に出向き、学校から要望のあった支援活動を行ってきた。 しかし、地震後、先生方の負担はこれまで以上に重くなっている実態がある。子どもの多様な実態に対応するために精神的に負担感を抱いている先生方への傾聴活動を実施すると共に、特に増加傾向にある特別支援の必要な子どもへの見守り・寄り添い支援を行った。10年間のこれまでの実績を踏まえ、行政の枠内ではできない細かく迅速で柔軟な支援を実施した。 ● 実活動した会員：18名(会員数28名) ※支援活動一回につき交通費500円 <table border="0"> <tr> <td>① テストや自習課題の丸付け支援</td><td>118回</td></tr> <tr> <td>② 自習時間の読み聞かせ支援</td><td>15回</td></tr> <tr> <td>③ 特別な配慮が必要な児童生徒への見守り及び学習支援活動</td><td>136回</td></tr> <tr> <td>④ 先生方への傾聴活動</td><td>8回</td></tr> <tr> <td>⑤ 防災指導支援</td><td>9回</td></tr> <tr> <td>⑥ 作業活動支援(ガーデニング、印刷)</td><td>49回</td></tr> <tr> <td>⑦ 各学校との打ち合わせ及び傾聴、作業支援(無報酬分)</td><td>61回</td></tr> <tr> <td></td><td>500円×335回=167,500円</td></tr> <tr> <td>⑧ 講師謝金(特別支援教育研修)</td><td>4人=18,000円</td></tr> <tr> <td>⑨ 役務・通信費(切手代)</td><td>2,460円</td></tr> <tr> <td>⑩ 会場使用料</td><td>1,300円×1回=1,300円</td></tr> <tr> <td>⑪ 消耗品費(文房具等)</td><td>22,610円</td></tr> <tr> <td>合計</td><td>211,870円</td></tr> </table>	① テストや自習課題の丸付け支援	118回	② 自習時間の読み聞かせ支援	15回	③ 特別な配慮が必要な児童生徒への見守り及び学習支援活動	136回	④ 先生方への傾聴活動	8回	⑤ 防災指導支援	9回	⑥ 作業活動支援(ガーデニング、印刷)	49回	⑦ 各学校との打ち合わせ及び傾聴、作業支援(無報酬分)	61回		500円×335回=167,500円	⑧ 講師謝金(特別支援教育研修)	4人=18,000円	⑨ 役務・通信費(切手代)	2,460円	⑩ 会場使用料	1,300円×1回=1,300円	⑪ 消耗品費(文房具等)	22,610円	合計	211,870円
① テストや自習課題の丸付け支援	118回																										
② 自習時間の読み聞かせ支援	15回																										
③ 特別な配慮が必要な児童生徒への見守り及び学習支援活動	136回																										
④ 先生方への傾聴活動	8回																										
⑤ 防災指導支援	9回																										
⑥ 作業活動支援(ガーデニング、印刷)	49回																										
⑦ 各学校との打ち合わせ及び傾聴、作業支援(無報酬分)	61回																										
	500円×335回=167,500円																										
⑧ 講師謝金(特別支援教育研修)	4人=18,000円																										
⑨ 役務・通信費(切手代)	2,460円																										
⑩ 会場使用料	1,300円×1回=1,300円																										
⑪ 消耗品費(文房具等)	22,610円																										
合計	211,870円																										
実施場所	熊本市内の小中学校(会員の住居の近隣校) 17校																										
事業の効果・公益性	熊本市家庭教育支援チーム第一号(文部科学省公認)として、また、わくわく基金助成団体として、児童・生徒の学力向上・健全育成を支援し、先生方の負担軽減に資することができた。																										
次年度以降の事業展望	今後も各学校の要望に沿って柔軟に対応する。新会員の増加も図り、多様な要望にも応えられるよう会員同士の情報交換や研修にも力を入れる。会員の活動意欲の向上を図り、活動継続の一助とする。																										
事業への想い (当事業によってどのような熊本市にしていきたいか)	今後も各学校の要望に沿って柔軟に対応する。新会員の増加も図り、多様な要望にも応えられるよう会員同士の情報交換や研修にも力を入れる。会員の活動意欲の向上を図り、活動継続の一助とする。																										

事業収支決算書

項 目		金 額 (円)	内 訳
収 入	自己資金	0円	会費
		0円	当該事業による収益
		0円	その他の自己資金
		71,870円	寄附金・協賛金・サポーター金
	市民公益活動支援助成金	140,000円	当該事業に対する助成額
	その他の補助金・助成金	0円	
	計	211,870円	
支 出	助成対象経費	人件費	0円
		報償費	18,000円 講師謝金(5,000×3人+3,000×1人)
		役務費	2,460円 切手代
		使用料・賃借料	1,300円 コミュニティセンター使用料 1回
		事務費	22,610円 消耗品(文房具等)
		旅費	167,500円 学校支援活動補助 交通費 1回 500円 年間活動延べ回数 335回
		委託費	0円
		その他	0円
		小計	211,870円
	助成対象外経費		
		小計	0円
	計	211,870円	